

VOL. 36  
2024.冬号

# NANAIRO

なないろ



## 新年のご挨拶

### 虹の家の三段跳び

皆様、「龍」年の新年あけましておめでとうございます。十二支の中でウサギやニワトリは飛ばず、空高く飛翔するのは龍だけです。今年は虹の家が開設されて10年目となる記念すべき年ですのでこれまでの沿革を三段跳びに例えて助走期(準備期)から今年、更にジャンプする期を4期に分けて振り返り今後の邁進する覚悟を述べたいと思います。

障がい児者医療生活支援ホーム虹の家 院長 岩永 正彦

助走期

#### 昭和60年からの準備期

今から遡ること40年余りに理事長はリハビリ専門学校を卒業されて作業療法士の免許を取得され、大学院にてさらに研鑽を積み社会福祉士の免許も取得されて15年間リハビリ専門学校で教鞭をとられました。当時はまだ将来の虹の家のような施設を運営することは念頭になかったそうですが日頃の言葉の端々に「障がい者のために役に立ちたい。困っている人があれば待たせず、すぐに手を差し伸べたい。」との気持ちを当時から持っておられたようです。

ホップ期

#### 平成26年10月からの5年間(前期)

現在の地に虹の家が開設され活動を始めた時期です。この期は三段跳びの最初の跳躍にあたり、二回目の跳躍に繋げる最も難しいステージです。ルールとして踏切板を踏み切った同じ足で着地してその足で次の跳躍(ステップ)をする訳ですが、イメージしただけでも難しく上手く跳べません。この難しい時期は法的に18歳以上の障がい者だけの受け入れに限られていましたが運営は和白病院や九大小児科の全面的な医療的なバックアップの下、北九州の同類の施設やご家族様のご助言を得ながら少しずつ軌道に乗ってきた時期です。

ステップ期

#### 令和元年からの5年間(後期)

虹の家も一応軌道に乗ってきた時期で、私は5年目の令和元年に就職しました。総数52床のうち約40床を入所(入院)、10床程度を短期入所者用としていましたが、この5年間で利用を希望される方が鰻登りに増え、医療的ケアも重度化してきました。社会全体でも虹の家のような施設は絶対数が不足しており行政や大病院などからも虹の家の充実拡大を要望されていることもあり、近隣の建物に虹の家を拡張8床増床したところでした。

ジャンプ期

#### 令和5年からの近未来

近日中にさらに8床増やして68床となりますが、従来からの一貫とした方針である利用者の“居場所づくり”にハード、ソフト両面をさらに充実する時期です。広辞苑(第7版)では居場所とは“今いるところ”“いどころ”とだけの説明ですが最近はこの物理的空間だけでなく“心安らぎ居心地よく過ごせる場所”のように心理的な意に使われることが多いです。ご家庭に勝る居場所はありますが、虹の家は少しでもご家庭に近い居場所づくりに努め、これからもご家庭と施設(虹の家)を行ったり来たりできる(虹の)架け橋としての役割を担い続けてまいります。

## 復活 なないろマルシェ

令和5年10月14日(土)4年ぶりに「なないろマルシェ」が復活しました。コロナ禍は、簡単な企画でその様子をご家族にご紹介するだけでしたが、今年は、ご家族も参加でゲームや屋台などを楽しんでいただきました。焼きそばやフランクフルト、焼き鳥などお昼はご家族の皆さんでにぎわいました。バザーもたくさんお買い上げいただきました。また、4年ぶりに福岡高等学校吹奏楽部の演奏もありました。総勢47名の生徒さんの演奏で迫力満点でした。顧問の先生のご挨拶で、「4年前よりも随分人が増えましたね。」と印象を述べられました。ご家族が多く参加していただいたこと、そして、重度な方もみんな会場に集まっていたことが要因だと思います。コロナの間の鬱積が爆発したようで晴れやかなマルシェになりました。ご参加いただいたご家族から満足の声が届いています。



## インクルーシブフェスタ × 令愛祭

令和5年11月4日(土)に令和健康科学大学の第2回目の学祭「令愛祭」が行われました。

福岡和白病院等の「健康フェスタ」と3法人主催の「第4回インクルーシブフェスタ」も同時開催し、大変盛り上がりしました。ポッチャ大会は地域からの参加者で1位から3位を独占となりましたが、障がいのある方と、地域の方のふれあいが深まっています。虹の家の車いすチーム「レインボー」は今回も1勝することが出来なかったのが心残りです。就労支援みかんの樹は、バーガー号でハンバーガーを販売したり、学食でステーキセットを提供したりと大忙しでした。あきの会の障がいのある方々も、学生のお化け屋敷を楽しんだり、焼き鳥やポテトを買って食べたりと楽しい時間を過ごしました。



## 第48回 重症心身障害学術集会

令和5年10月26日27日に千葉の幕張メッセで開催された第48回重症心身障害学術集会に療養部佐々木主任と理学療法士の鈴木汰史が参加し発表を行いました。

### 肺炎による転院ゼロを目指して～多職種連携による呼吸リハの取り組み～

今回、共同演者として参加させて頂きました。他職種連携を題材にされている事業所や病院様が多くあり、他職種連携の重要性を再認識できました。てんかんのセッションでは、薬剤についての発表が多く、最近でた薬剤の効果についてなどの研究発表を聞き学習することができました。コロナウイルス感染症のセッションではクラスターが発生した事業所、病院様は、初動がとても大事だと発表されていた。初動をスムーズに行うためには日ごろから勉強会などを通して定着させておくことが重要だと改めて感じました。他にも色々なセッションに参加することができとても貴重な経験をする事ができました。

佐々木

### 学習メモ

- フェニトインは、剤形により吸収率が変わってくる
- 抗てんかん薬を、胃腸瘻から注入する際に、薬剤がプラスチックチューブすることがあり、必要量はいついていないことがある。薬剤注入後は必ずフラッシュが必要。
- ペースト食や経腸栄養剤のどの種類を使用するかによって薬物血中濃度の上がり方が変わってくる。また、とろみ剤を使用しての注入もゾニサミドやカルバマゼピンの血中濃度を低下させることがある。そのため薬を注入するタイミングがとても重要となる。
- ラコサミドは、焦点起始発作(部分発作)に有効とされている。また、フェノバルビタール、フェニトイン、カルバマゼピン、バルプロ酸などは、眠気などの副作用がやすいが、ラコサミドはでにくいとのこと。そのため、加齢に伴う身体機能や活動性低下に対して有効的であるとのこと。
- コロナウイルス感染症罹患時に、ウイルス排泄が遅延していた患者に対して、レムデシビルを投与することにより、軽快したとのこと。
- コロナウイルス感染症クラスターを経験して、初動がスムーズにいけば、感染拡大を抑えられる。初動をスムーズに行うためには、日ごろから意識して行えるように勉強会などをおこしておくといい。

### 研修報告

今回の学術大会では看護の佐々木さんと共に【肺炎による転院ゼロを目指して】という題でポスター発表を行わせていただきました。

発表時間は4分、質疑応答が2分と非常に短い時間でしたが、要点を絞り、簡潔に伝える事を意識し行いました。また、他の出展されているポスターや口演発表を聞き、直接聞けなかったものは抄録にて内容を確認しました。

様々な口演やポスターを拝見し、興味深いものが多く大変貴重な経験をさせていただきました。

特に印象に残っているのが、腹臥位に対する否定的な発表です。重症心身障害において腹臥位はメリットが多く、その効果を立証する文献が多い中、定額していない患者に対しては、ストレスが強くなり、腹臥位でのリラクゼーション効果が得られず、逆に筋緊張が高まるという結果となっていました。普段、私が行っている患者でもリラクゼーション効果に個人差が事は認識しており、似たような現象が起こっている可能性があるのであれば、その原因を探る評価を行う必要があると感じました。重症心身障害者は、一人一人特性があり、腹臥位一つとっても個々に応じた評価及び訓練が必要だと再認識しました。これからも自己研鑽に励みたいと思います。

鈴木 汰史



## 令和5年 全国重症心身障害児者施設職員研修会 栄養士・調理師コース

研修会の冒頭のあいさつで、「重症心身障害児者の人たちが生きるために必要なこと。一番目は呼吸。呼吸をしっかりと整えてあげること。そして2番目は食事です。」と述べられました。その言葉に、自分の担う役割の重要性を身に感じながら、研修に参加しました。

重症心身障害児者の食事開始時に考えるべきこととして、1)栄養摂取経路2)BMIの目標3)投与加減の設定4)タンパク質の投与量、脂質の投与量5)消化管蠕動運動障害の有無6)内服薬剤で栄養障害を起こすものはないかなどが主になります。

個々の身体障害に応じて各機能の評価が必要であるため、多職種との連携も重要です。

また重症心身障害児者に共通する点には、脳腸関連の関係より腸内細菌叢の乱れによる便秘症状と長期の抗てんかん薬服用による栄養障害(特に亜鉛欠乏・カルシウム欠乏)が挙げられます。腸内環境を改善するためには、食物繊維や乳酸菌、オリゴ糖などの摂取が有効ですが下痢には寒天、便臭にはオリゴ糖など、食品の効能を理解し、症状の改善に役立てることができると思いました。抗てんかん薬による代謝障害の一つに亜鉛欠乏やカルシウム欠乏がありますが、経口摂取での欠乏が強いとされています。これは、今後血中濃度測定を検討を依頼し、評価していく必要があると思います。これらのことより、日本人の栄養摂取基準にそった食事内容では微量栄養素、ビタミン量が不十分であることに留意し、欠乏症状の予防に努めていきたいと思えます。

管理栄養士 中村 千早



## 第34回 重症心身障害療育学会学術集会

令和5年10月4日から6日まで仙台で開催された第34回重症心身障害療育学会学術集会に療養部宮崎課長と松尾主任が参加し発表を行いました。有意義な学術集会と仙台的牛タンを堪能して参りました。

多くの質問があり一定の評価をいただいております。

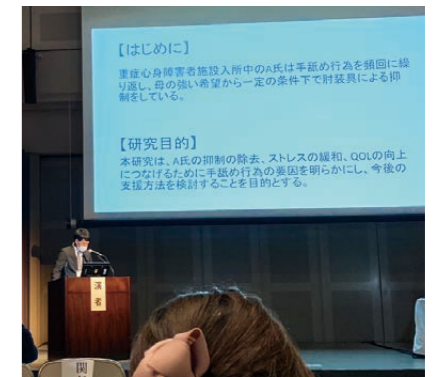
### 入所者の手紙め行為による一考察 ～多角的な視野からのアセスメントとアプローチ～

10/4～10/6の三日間、仙台エコー医療療育センター施設見学及び第34回重症心身障害療育学会学術集会に研究発表者として参加させていただきました。

全国から重症心身障害分野に関わる医療・福祉従事者が集まる中での発表はとても緊張しましたが、自分の発表や他施設の発表を通し様々な知識や実践内容を共有することが出来ました。

施設見学、学術集会と内容の濃い3日間でしたが、そこで学んだもの、得たものを虹の家の利用者の皆様、職員に還元していきたいと思えます。そして還元していく中で新たに実践したことや発見したことを今後の学術集会で全国に共有し、重症心身障害分野の医療・福祉の発展に関わっていけたらと思えます。

療養部 看護師 松尾 大地



復活

## ふれあいフェスタ千代

令和5年11月26日(日)4年ぶりに「ふれあいフェスタ千代」が開催されました。虹の家は3回目の参加になりますが、ふれあいフェスタ千代は今回で20回を数えます。千代校区社会福祉協議会が主催し、虹の家も参加している千代地区事業所ネットワーク連絡会も協力しています。はしご車・パトカー・白バイ試乗や車椅子やアイマスクの体験や水消火器訓練、千代小学校中学校のPTAによる屋台など、子供から大人まで集う地域作りイベントです。その中で、虹の家はカレンダーやグッズの販売、ポッチャ体験コーナーを行いました。久しぶりにチームレインボーのダンスも披露でき、地域の皆さんとふれあいことができました。みんな笑顔です!!



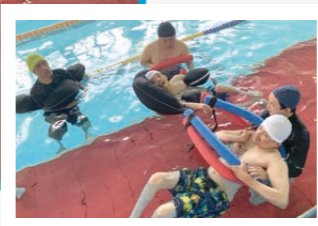
## 年末恒例 餅つき大会

令和5年12月22日(金)恒例の餅つき大会を行いました。今年はコロナ明けとなり、スタッフだけでなくご家族にも協力いただきました。ところが、副院長が急遽忌引きとなり、指揮官を失い、水分量がわからず20kgの半分くらい水分が多く丸めることが出来ない事態が発生しました。何事も勉強です。それでも、利用者に皆さんは笑顔いっぱいでした。



## 外出企画

(自立自由ユニット)



## プールDEリハビリ第二弾

令和5年10月6日第2回目のプール外出を行いました。今回は、ご家族の方も応援いただきました。2回目であり、手足を動かし浮き輪を利用して自力で泳ぐかたが増えました。



## ベイスайд外出

令和5年10月、2日に分けてベイスайд外出を行いました。



## パピオボーリング外出

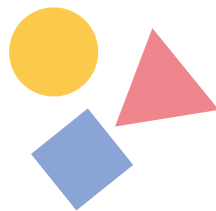


令和5年11月28日ご家族も沢山参加いただきボーリングを楽しみました。利用者様の意外な一面を発見でき有意義な時間でした。

## お知らせ

社会福祉法人あきの会は、令和6年4月より北九州にて事業運営を開始します。また、北九州では、5月に「なないろ診療所」を開設し、医療的ケアの必要な重度障害児者の受入を積極的に行っていきます。

福岡事業部	北九州事業部
障がい児者医療生活支援ホーム虹の家	なないろ診療所
<ul style="list-style-type: none"> <li>療養介護事業</li> <li>医療型短期入所事業</li> <li>医療型障害児入所事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療型特定短期入所事業</li> </ul>
生活介護事業	生活介護事業所 想
相談支援事業(児・者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>海グループ(強度行動障害特化型)</li> <li>空グループ(多動性障害特化型)</li> <li>星グループ(生産活動特化型)</li> </ul>
虹の家式番館(福祉型短期入所事業)	短期入所事業所 なないろ(福祉型)
<ul style="list-style-type: none"> <li>日中一時支援事業</li> </ul>	ヘルパーステーション なないろ
みかんの樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>居宅介護事業</li> <li>訪問介護事業</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>就労支援雇用型</li> <li>就労支援非雇用型</li> </ul>	特定相談支援事業所 なないろ



社会福祉法人  
あきの会

<http://akinokai.jp/>

## 虹の家

障がい児者医療生活支援ホーム

〒812-0044 福岡市博多区千代一丁目15番10号

TEL/092-651-7325 FAX/092-651-2420

## みかんの樹

〒811-0101 福岡県粕屋郡新宮町原上1223-4

TEL/092-962-0585 FAX/092-962-0527



Instagram